

ISEP 25th Anniversary — March 2025

ISEP Next 25

Repower Japan : 次の四半世紀をデザインする

ISEP intelligent pragmatism — Grounded Solutions for Energy Transition



ISEPはAI-Nativeへ

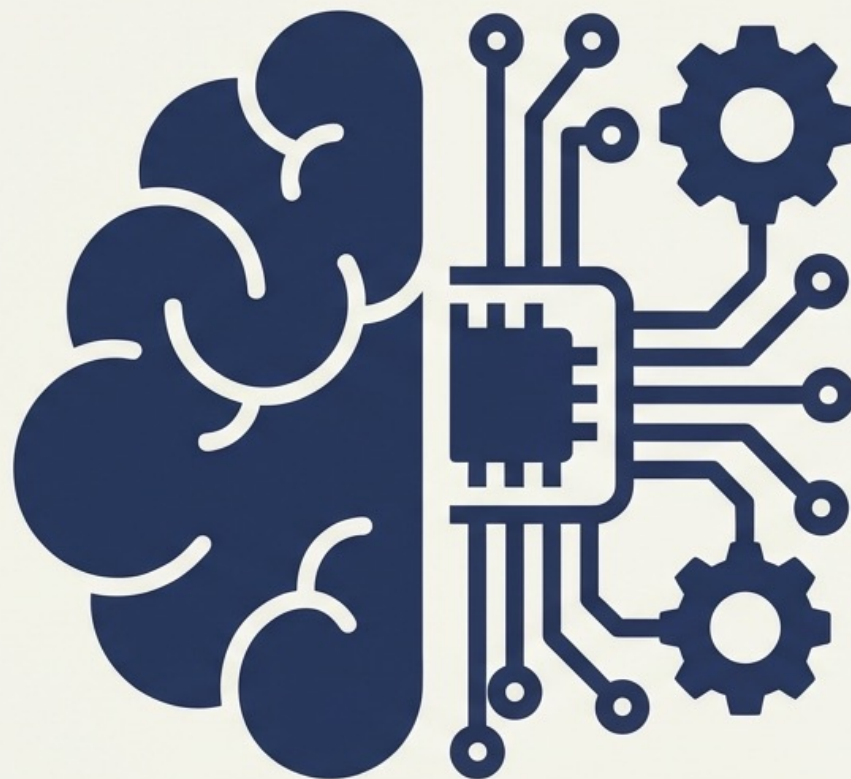
次の25年、ISEPはAIを
「ツール」ではなく「組織の
知性基盤」として実装する。

審議会の全自動監視

電力市場の
リアルタイム分析

EV・自動運転の
国内外データ調査

メタレベル・ナラ
ティブによる上書き



組織モデルのパラダイムシフト

これまでの限界 - 従来型シンクタンク

人手による審議会
資料の収集・分析

定期レポート（月次・四半期）に依存

個別のSNS発信と各
プロジェクトの独立運営

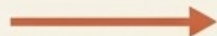
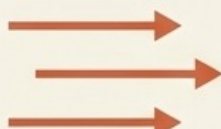
EV・自動運転情報の断片的把握と、
個人の知見に依存する国際情報

🧠 AI-Nativeへの飛躍



仮想「気候エネルギー省」の実現

これらを統合した「ISEP Intelligence」は、少人数のシンクタンクがエネルギー政策の「第二ガバメント」となる。



24/365監視

審議会・電力市場データを自動収集・分析

グローバル追跡

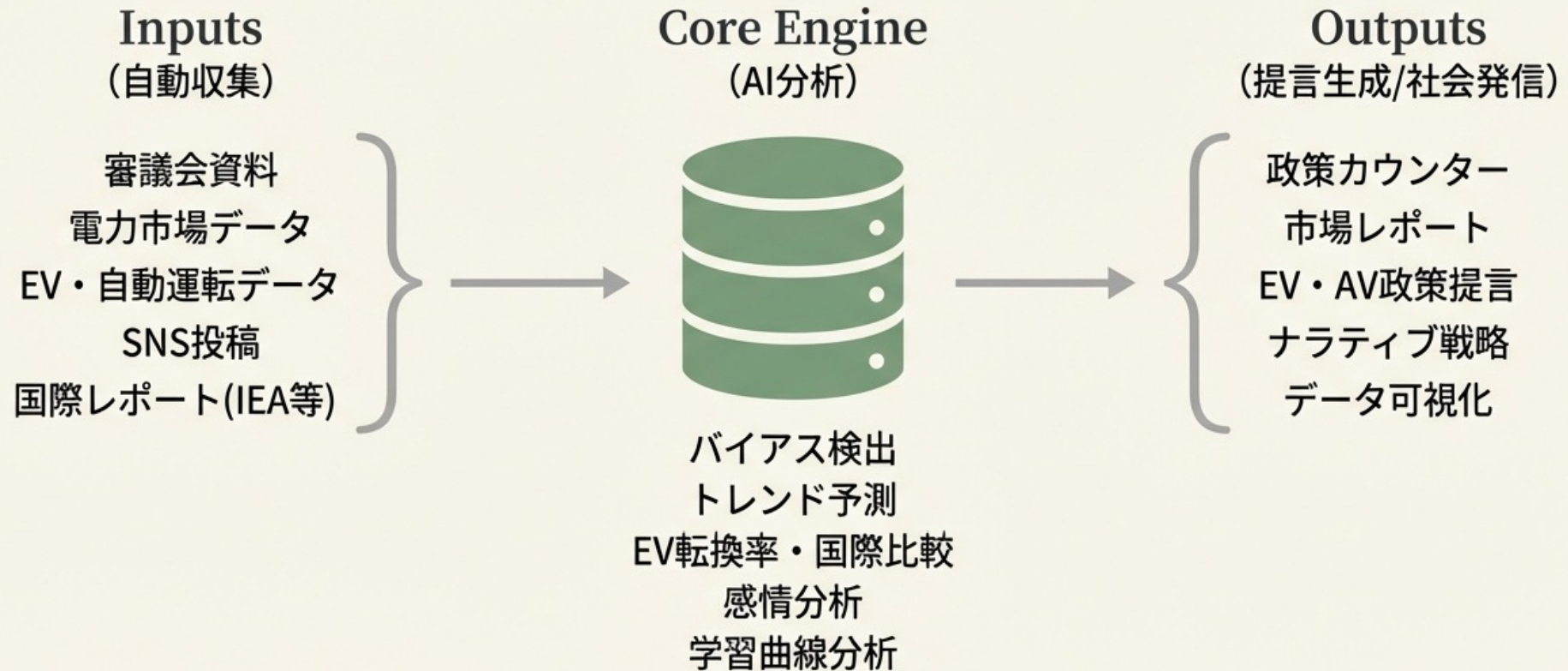
国内外のEV転換・完全自動運転の動向をAIで調査

ナラティブ戦略

国際比較・バイアス検出に基づくメタレベルでの言説上書きとカウンター発信

ISEP Intelligence アーキテクチャ

AIネイティブ横断プラットフォーム — 知のハブ



The Three Pillars of Next 25



Creative
Transformation

創造的変革



Energy
Democracy

エネルギー民主主義



Theory-Reality
Integration

理論と実践の統合

Pillar 1: Creative Transformation

創造的変革を推し進める

Current Actions

- ディスラプション・トラッカー発行
- グリーンテック・スタートアップ連携
- 太陽光・蓄電池・EV動向分析
- EV転換・モビリティ変革調査

手動での動向分析から、グローバル市場とテクノロジーの指数関数的変化をリアルタイムで捉えるトラッキングシステムへ。

AI-Native Capabilities



電力市場AIモニタリング

出力抑制・容量市場・卸電力価格をリアルタイム監視。制度設計の矛盾を自動検出し、政策提言を自動生成。



EV・自動運転AIトラッカー

国内外のEV販売・充電インフラ・完全自動運転の進展データをAIが自動収集。ICE→EV転換の国際比較と日本の遅れを定量化。



グローバル・コスト・トラッカー

太陽光・蓄電池・EVの国際価格データをAIが自動収集・学習曲線分析。日本のガラパゴス化を定量的に可視化。



系統連系AIシミュレーター

系統データとAIで接続可能量を推計。ボトルネック解消の最適解をリアルタイムに提示。

▶ 2030 Vision: AIが24時間365日、世界中の電力市場・EV転換・自動運転の動向を監視。指数関数的変化の「兆し」を誰よりも早く捉え、日本のエネルギー・モビリティ政策を先導する。

Pillar 2: Energy Democracy

エネルギー民主主義を拡げる

Current Actions

- ・ 市民参加型ゾーニング・ガイドライン
- ・ まちなかソーラー・プロシューマー拡大
- ・ 地域合意形成ツールキット

個別地域のツールキット提供から、社会全体のナラティブ防衛と、情報非対称性を解消するデータ主導の合意形成プラットフォームへ。

Pillar 2: Energy Democracy

コミュニティパワー：人々が集う力



エネルギーの意思決定に市民が主体的に参加し、地域の便益とリスクを公平に分配する社会。「コミュニティパワー」は、地域の人々が集い、対話し、自らのエネルギーの未来を決める力。



市民参加型意思決定

ワークショップ・デジタルPFで地域住民がエネルギー計画に参加。情報非対称性を解消し、データ主導の合意形成を実現



まちなかソーラー・プロシューマー

消費者から「生産消費者」へ。屋根上太陽光・蓄電池・EVのV2H/V2Gで地域のエネルギー自立を加速



地域合意形成ツールキット

AIゾーニング・アシスタントでGIS・環境データを統合処理。地域にとって最適な再エネ配置を自動提案し、合意形成コストを劇的に削減



ナラティブ防衛と情報対称化

ソーシャルリスニングAIでネガキャンの発生源と拡散を特定。メタレベル・ナラティブによる上書き戦略で、エネルギー選択の公正性を守る

人々が集い、対話し、自ら決める

01 集う GATHER

地域住民・事業者・自治体が一
堂に会する「場」をつくる。
AIゾーニングが合意形成の土台
データを自動生成。

▶ 02 対話する DIALOGUE

市民エネルギー・ダッシュボー
ドで「自分ごと化」を促進。
エネルギー収支・経済効果・CO2
削減量をリアルタイム可視化。

▶ 03 決める・実行する ACT

コミュニティパワーとして地域
資本で再エネ事業を実現。
まちなかソーラー・営農型太陽
光・地域新電力の自立的展開。

AI-Native Capabilities



ソーシャルリスニングAI

SNS上の再エネ・EV関連言説をリアルタイム分析。ネガキャンの発生源と拡散パターンを特定し、メタレベル・ナラティブによる上書き戦略を自動提案。



AIゾーニング・アシスタント

GIS・環境データ・地権者情報をAIが統合処理。地域にとって最適な再エネ配置を自動提案し、合意形成コストを劇的に削減。



市民エネルギー・ダッシュボード

地域のエネルギー収支・経済効果・CO2削減量をAIが可視化。プロシューマーの参加メリットを「自分ごと化」する。

▶ 2030 Vision: AIエージェントがナラティブ空間を常時モニターし、偽情報やネガキャンにメタレベルのファクトで対抗。市民が「情報の非対称性」なくエネルギー選択できる社会を実現。

Pillar 3: Theory-Reality Integration / 「表層」と「現実」の乖離を埋める

政府やメディアが語る「エネルギー政策」と、地域・事業・ファイナンスの現場で起きている現実には、巨大な乖離がある。

表層の理解： 政府・メディアの語り

- 「原発はベースロード電源」
- 「再エネはコスト高・不安定」
- 「水素社会が次世代の解」
- 「EV普及はまだ先」
- 「系統制約は技術的限界」



巨大な乖離



現場の現実： 事業・ファイナンスの実態

- 太陽光+蓄電池が最安電源に
- 再エネ100%地域が現実に出現
- LFP電池の学習曲線が加速
- EV転換のS字カーブが急勾配
- 系統制約は政策的・制度的問題

ISEPの唯一無二の強み

25年間の地域エネルギー事業への伴走経験。机上の理論ではなく、営農型太陽光・地域新電力・市民ファンド等の「現場のリアル」を体系化した知の資産を、AI-Nativeでスケールさせる。



実践知の体系化

- 成功要因・課題のナレッジベース
- 営農型太陽光6サイトの実データ
- 地域新電力の経営実態記録
- 柔軟性の経済学・市場設計研究



事業・ファイナンスの 多様化

- SPC-PPA・市民ファンドのモデル
- 地域金融との連携フレームワーク
- 事業性評価ツールの開発・公開
- リスク・リターンの実績データ蓄積



バイアス検出エンジン

- 政府審議会のリアルタイム監視
- あべこべ現象の自動検出・定量化
- 国際比較による日本の位置づけ
- ISEP Score (5軸) 自動算出

▶ 理論研究の蓄積から、国家政策のバイアスをリアルタイムに看破し、圧倒的なエビデンスで対案を提示するシミュレーション・エンジンへ。

究極のインパクト：「データ」が日本のナラティブを上書きする

[OLD MYTH]
既存のナラティブ

[FACT]
データエビデンス

[NEW NARRATIVE]
新しい常識

再エネは系統を不安定にする

→ 合成イナーシアデータ →

蓄電池が系統を安定させる

出力制御はやむを得ない

→ 空容量と制御時間帯の突合 →

出力制御は政策的選択の結果

原子力は安価なベースロード

→ 容量市場補助金を含む真のコスト →

再エネ+蓄電池が最も経済的

EVは電気代が高い

→ JEPX価格の時間帯分析 →

賢い充電でEVは得

ISEPが持つ3つの実現力

1 25年間の「現場」

地域エネルギー事業の成功も失敗も含めた伴走経験。営農型太陽光・FIT制度設計・地域新電力・市民ファンドなど、理論では得られない「リアル」を蓄積している。

2 表層と現実の「翻訳者」

政府審議会にも参加し、メディアの報道も熟知しながら、同時に地域の現場でデータを取り続けている。この「両方を知る」立場は日本で唯一。表層の虚構と現実の乖離を可視化できる。

3 AI-Nativeでスケール

少人数のシンクタンクが、ISEP Intelligenceを通じて「仮想・気候エネルギー省」として機能する。25年の暗黙知をナレッジベースに体系化し、AIが24/365で監視・分析・提言を生成。

ISEP intelligent pragmatism — 理念でも技術でもなく、
「現場を知る知性」で日本のエネルギー転換を導く。

ISEP Next 25 Repower Japan

次の四半世紀をデザインする

ISEP intelligent pragmatism — Grounded Solutions for Energy Transition